

各学校区や市町村のハザードマップの入手方法について

【ハザードマップとは】

ある場所で自然災害が起こった場合に、被害を受けると予想される範囲を示した地図をハザードマップといいます。直訳すれば「危険地図」ということになりますが、通常「災害予測図」とか「被害想定図」などと訳されます。今では火山、土砂災害、水害、地震、津波など、いろいろな災害についてのハザードマップが作成されています。

土砂災害のハザードマップは、市町村をいくつかの地域に分け、地域ごとに土石流・地すべり・がけくずれの危険箇所や、災害が起きた場合や起きそうな場合の避難場所などを示しています。災害への備えや、避難に役立つ情報も掲載されています。

【ハザードマップの入手方法】

○ハザードマップは市町村の防災担当から入手してください。

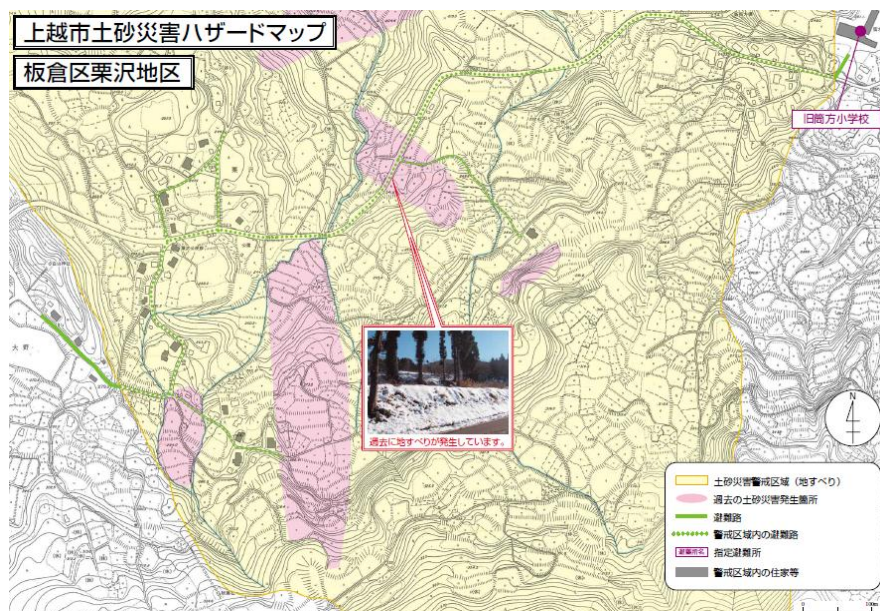
【土_資料 306】新潟県市町村防災担当窓口一覧を参照

※組織改正により、担当部署や名称、電話番号が変更する恐れがありますので、ご了承ください。

○各市町村のホームページからダウンロードできる場合もあります。

「土砂災害ハザードマップ」を検索して、必要なマップをダウンロードしてください。
(授業では少し大きめに出力して各班に配布してください。)

＜土砂災害ハザードマップの例＞



ー参考ー

新潟県土木部砂防課のホームページから学校周辺の「土砂災害警戒区域」に指定されている区域を確認することができます。(地図のダウンロードも可能)

(アクセス先URL) <http://www.sabou-niigata.jp/dosyahou/>

→ページを開き、検索の指示に従って、必要な市区町村名、区域名を選んで下さい。

区域図を選ぶと地図のダウンロードが可能です。